

松っ子だより

平成27年10月14日(水)

松沢小学校だより No.8

文責：校長 星 俊 夫

☆ カ一杯！小体連陸上競技大会(10月1日)



向後 準平 コーチの指導 ↑

9月、10月、学校は大変忙しい時期です。感想文、作文、
図画等のコンクールがあり、全児童が作品づくりに取り組みま

す。教職員は、各教科の研修や研究協議会のために出張が多くなる時期です。あわただしい毎日ですが、先生も児童も元気で頑張っています。



5・6年生は、10月1日の小体連陸上競技大会に向けて、2学期早々から練習に励んできました。小林・遠藤先生の指導の他、ひのきスポーツクラブの向後準平さんがコーチとして継続して指導してくださいました。心より感謝いたします。

さて、大会当日、松沢っ子一人一人がカ一杯競技に参加する姿に感動した一日でした。

特に、5・6年生は男8名、女8名、合わせて16名ですが、4×100mリレーに全員(男女各2組)が選手として参加し、バトンを繋いで走ったことが何故か運命的な出来事のように感じられました。(一人でも怪我などで欠席したら全員参加のリレーは達成できないので。)

養護教諭の渡部先生が言っていました。「練習の時も、本番の時も、足が痛いとか腕が痛いとか、ちょっとしたことで弱音を吐く子どもがいません。みんなたくましさを感じます。」

遠山 啓 という偉大な教育者が次のようなことを言っています。

「目標を他人におくような競争心を刺激する方法だけだと、自分自身を見失ってしまう恐れがある。一流と呼ばれる人たちは、他人など眼中に置かず事物そのものに目標を置いている。」

陸上競技大会を終えた後に子どもたちが書いた感想文の中にはどの子にも「自分自身(自分の記録)に目標を置いて取り組んでいた気持ちや姿勢」が生き生きと表れていましたが、まさに一人一人に、輝く未来の芽が宿っていると感じました。



子どもたちは、小学生のこの時期、私たち大人の数倍の早さで毎日様々なことを感じ、学び取っています。何かできるようになるのは、本人の努力が大切ですが、教師や大人の助言や周りの友だちのよい刺激がなければ困難な壁は乗り越えられないでしょう。子どもは、豊かな環境の中でより学び成長していきます。教師、友だち、そして家庭、地域でみんな励ましてくれるから、あきらめずに努力し成長を自ら実感できるのだと思います。

スポーツでも学芸でも楽しんで伸びることはまずありません。「自分自身の目標に向かってがんばることの価値を感得させる。」教え導く私たちの姿勢がぶれない様にしたいです。

☆ 各種コンクール・大会等の入賞者

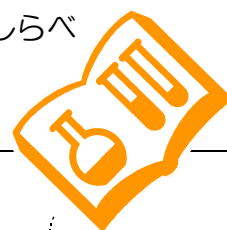
おめでとうございます！

■ 平成27年度 南会津町小体連陸上競技大会

□5年女子	走り高跳び	1位	大桃 夏鈴	□男子4×100mリレー	
	800m走	1位	齋藤 凜華	6位	桧沢小Aチーム
□6年女子	100m走	5位	星 伶奈		湯田 陽斗 星 遼河
	走り幅跳び	2位	草野 琉稀		佐藤 楽人 吉田 英斗
	走り高跳び	4位	白井 奈波	□女子4×100mリレー	
	800m走	2位	星 奈津美	5位	桧沢小Aチーム
□6年男子	走り幅跳び	5位	湯田 陽斗		星 奈津美 星 伶奈
	1000m走	2位	星 遼河		白井 奈波 齋藤 凜華

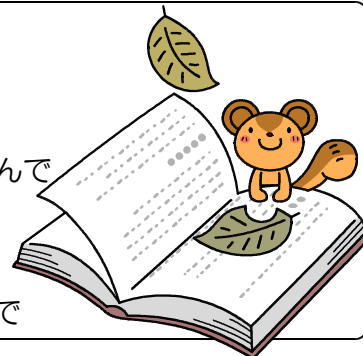
■ 平成27年度 南会津地区小学校理科作品展

- 入選 5年 大桃 夏鈴 「食品に含まれるデンプン調べ」
- 6年 星 奈津美 「洗剤の洗う力」
- 特選 2年 掃部 夏央 「じね〜んの森」の人工いけの水生昆虫しらべ
- 4年 阿久津志童 「電気大実験」
- 県出品 6年 白井 奈波 「糸の芸術（クモの巣の秘密をさぐれ）」



■ 平成27年度 第61回 南会津地区読書感想文コンクール

- 入選 1年 鈴木 康友 「あさがお」をよんで
- 2年 鈴木 駿太郎 「一つの花」を読んで
- 3年 吉田 あいる 「かぐやのかご」を読んで
- 4年 有賀 麻衣 「おかあさんのそばがすき」を読んで
- 6年 星 亜璃沙 「カンナ道のむこうへ」を読んで
- 特選（県出品）
- 5年 細井 旺雅 「ぼくのひかり色の絵の具」読んで



※ 上記以外の大会、コンクールについては、次号で掲載します。